

# 安曇野市図書館 第2回市民ワークショップの報告

文化課図書館係

## 1 目的

市民目線で具体的に現状の図書館を見つめなおし、これからの図書館について皆で考える場として今年6月に市民ワークショップを開催したが、更にはなしを深めるため第2回目を開催する。

- |       |                     |          |
|-------|---------------------|----------|
| 2 日時  | 令和3年11月13日(土)       | 午前10時～正午 |
| 3 場所  | 穂高交流学習センター 多目的交流ホール |          |
| 4 定員  | 15人(先着順)            |          |
| 5 対象者 | 中学生以上・一般            |          |
| 6 参加費 | 無料                  |          |
| 7 参加者 | 一般参加者 8名            |          |
|       | 各館館長及び事務局 10名       | 計18名     |

## 8 内容

### (1) 講義 「安曇野市図書館の概要」説明

#### 第1回ワークショップの報告

ワークショップの進め方についての説明等 約15分

### (2) ワークショップ 約1時間45分

- 事務局厳正なくじにより3グループへ班分け
- 各グループにファシリテーター(館長)を置き、進行役となってもらう。
- 話し合いで出た意見等は、付箋に書き各グループに用意された模造紙に貼っていく。
- 出された意見等を共有するため、発表しあう。

## 3つのテーマ

### 1 図書館サービスやイベント

図書館の基本的なサービス(貸出・返却・予約など)や開催されるおはなし会、講座や講演会などのイベントについて

### 2 図書館資料の活用について

図書館の資料を使った調べものなどへの活用について

### 3 インターネットサービス・活用

HPや蔵書検索システム、Web予約、読書推進機能などインターネット上から提供されるサービスについて

## 【テーマ1 図書館サービスやイベント】

項目	内容
図書館サービスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館カードのデザインの見直し（ぼぽんイラストが入る程度ではなくて）</li> <li>・未利用者や来館できない方へのサービスの周知と充実</li> <li>・市民がつくる図書館作りを。</li> <li>・返却本を常時ポストに入れられるようにしたい。</li> <li>・電子図書の利用を可能にして欲しい。</li> <li>・子どもの利用環境整備。</li> <li>・中高生の利用が少ない。</li> </ul>
イベントについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史を学ぶ講座、地域の特徴や人材を生かした講座。</li> <li>・お話し会はPR不足。図書館によっては参加人数が少ない場合がある。</li> <li>・子ども達同士で自主的に読み聞かせをするおはなし会があっても良いのでは。</li> <li>・周辺自治体との連携。学校との連携。公民館イベントと図書館連携。</li> <li>・公民館との連携講座や積木キャラバンが好評。他との連携をさらに行っていく。</li> <li>・安曇野スタイル等地域のイベントや組織との連携。PR。</li> <li>・中央図書館はホールを活用して欲しい。</li> <li>・イベントと図書館利用との関係紹介をする。</li> <li>・中高生参加の企画が必要だが、PRが難しい。</li> </ul>
図書館資料について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本図書や専門書の充実して欲しい。ハウツー本が多い。</li> <li>・年間リクエスト件数が一人10件だが、20冊に増やして欲しい。</li> <li>・リクエストで購入した本と購入不可の記録をを公表して欲しい。</li> <li>・リクエストはHPからできるようにならないか。</li> <li>・音楽・映像のリクエストをできるようにして欲しい。</li> <li>・蔵書のデータをエクセルか電子データで公表して欲しい。</li> <li>・購入した本のリストを地区の回覧に入れてもらえないか。</li> </ul>
こんな図書館だったらいいな！	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人が集まるサロン <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールや学習室ではなく、図書館の閲覧席の一角を使い、トークライブ。お店の開き方、移住についてなど、いろいろな人の話を聞いたり、本を交えたりして行えばよいのではないか。</li> <li>・紹介本やノウハウ本とか。</li> <li>・図書館＝本を借りる場所だけでなく、人の話を情報として聞くことができるサロン</li> <li>・本は必要ないけれど、話は聞いてみたいという人たちが本を借りてくれるのでは。</li> </ul> </li> <li>○どこでもドア化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本は海外へ行くこともできる、海外について知ることにもできる。時代や空間を全く無視してどこへでも行ける。世界が広がる。二次元の世界へ行くこともできる。</li> <li>・知の宝庫 物語だけでなく、課題解決、自分の必要としている情報が載っている本役に立つ本もある。</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政からのお願いや市の政策を発信→興味を持ってもらう。 キャンペーン系は徐々にやり始めているので、さらなる広がり。</li> <li>・いくらでも掛け算できる。</li> <li>・来たくなる図書館 を仕掛ける</li> </ul> <p>○動画でも発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画作成 映像資料を使う。 司書だけでなく、市長や安曇野にいる有名人などちょっとしたインフルエンサーにも本を紹介してもらう。</li> <li>・紹介動画や、使い方、ちょっとした動画を作ってみるのもいいのでは？ 動画発信・PR</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館サポーターのおすすめ本とかも知りたい。</li> <li>・農業塾が人気 農業に関する本を発信</li> </ul>
--	--

## 【テーマ2 図書館資料の活用について】

項目	内容
レファレンス（調べ物のお手伝い）について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンスの事例紹介は利用者にもしたほうが良い。</li> <li>・閉架図書を紹介イベントを行ってはどうか。</li> <li>・社会科学、経済学の充実。</li> <li>・基本図書は複本でも良いと思う。</li> <li>・あやふやなものは検索してもわからないことが多い。検索システムの紹介をする。</li> <li>・郷土資料、特に禁帯出本のデジタル化を進める。</li> <li>・学校との連携や調べ学習の研究。</li> <li>・この人に聞けば！みたいな、名物司書</li> <li>・聞いて得する図書館</li> <li>・レファレンスで“売る”図書館</li> <li>・調べる系は現代ネットで完結してしまうことも多い→どう本につなげていくか</li> </ul>
資料のPRについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料活用・レファレンス事例の発信などのPRをする。</li> <li>・こんなレファレンスありました。 福井県立図書館が出している「100万回死んだねこ」のようなレファレンスを発信</li> <li>・各館、特長のお知らせをする。</li> <li>・テーマ別展示をタイムリーに行う。そのPRも活発に。(利用者の反応を知りたい)</li> <li>・レファレンス、データベースの充実とPR。</li> <li>・HPでは見る人が限られてくるので、利用者の幅を考えTwitterや紙媒体で掲示する。</li> </ul>
地域資料の活用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用する場がないのでスポットをもっとあてる。</li> <li>・“特色のある資料”をもっと発信、知ってもらう。</li> <li>・収集方針を知らない。→アピール</li> <li>・本の探し方や並び方の説明講座や動画の作成。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・並んでいる順はシリーズ？出版社？バラバラなので混乱。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複本はありにしてほしい。</li> <li>・テーマ展示の解説もしてほしい。</li> <li>・選書に市民の声を取り入れてほしい。</li> <li>・図書館への納本をしてほしい。</li> <li>・アンケート等で集まった声を紹介する。</li> <li>・利用者と意見交換をする。</li> </ul>

### 【テーマ3 インターネットサービス・活用】

項目	内容
インターネットサービスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホが利用者カードとして活用できるようにする。(ポイントカードのように)</li> <li>・来館しなくてもネット上でできることを増やす。(登録、更新等)</li> <li>・図書館のインターネットPC (将来タブレット端末)をもっと自由に利用可能に。</li> <li>・個人情報の保護等セキュリティは万全を期してほしい。</li> <li>・Wi-Fi等これ以上強くしないでほしい。電磁波過敏症なども知って</li> <li>・読書メーターのようなおすすめ本の紹介</li> <li>・司書や利用者のおすすめ本の紹介</li> <li>・リストや書評</li> <li>・図書館に行けない人たちのために、家からもできるサービス</li> <li>・朗読発信、寝ながら本を聴ける 寝たきりの方とかにも楽しんでもらえる</li> <li>・検索、予約 + 活用方法のPR</li> <li>・MY本棚と読書通帳が連動できれば。</li> <li>・市のHPと切り離し、蔵書検索だけでなく、トップページも図書館で作ればいいのでは？</li> <li>・市のトップページから、図書館のサイトに直接飛べるリンクがわかりづらい。</li> <li>・開館時間がすぐでてこない</li> <li>・インターネットと本、子供のころからどう向かい合い、使っていくか。</li> <li>・Web 図書館化への課題の洗い出し (効果と限界)</li> <li>・青空文庫の利用を中高生へ紹介 (無料で利用可)</li> <li>・GIGA スクールとの連携</li> <li>・あいまい検索ができればいい (Webcat Plusを紹介)</li> </ul>
PRについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州ナレッジスクエア等のサイトやインターネットサービスの周知のためのPRをする。</li> <li>・HPでリンクを載せて欲しい。(図書館のHPに有)</li> <li>・ネット利用者の図書館利用への誘導</li> <li>・ネットに慣れていない人が活用する方法を検討する。</li> <li>・インターネットサービスについてのPRを冊子やHPでダウンロードできるようにする。</li> </ul>